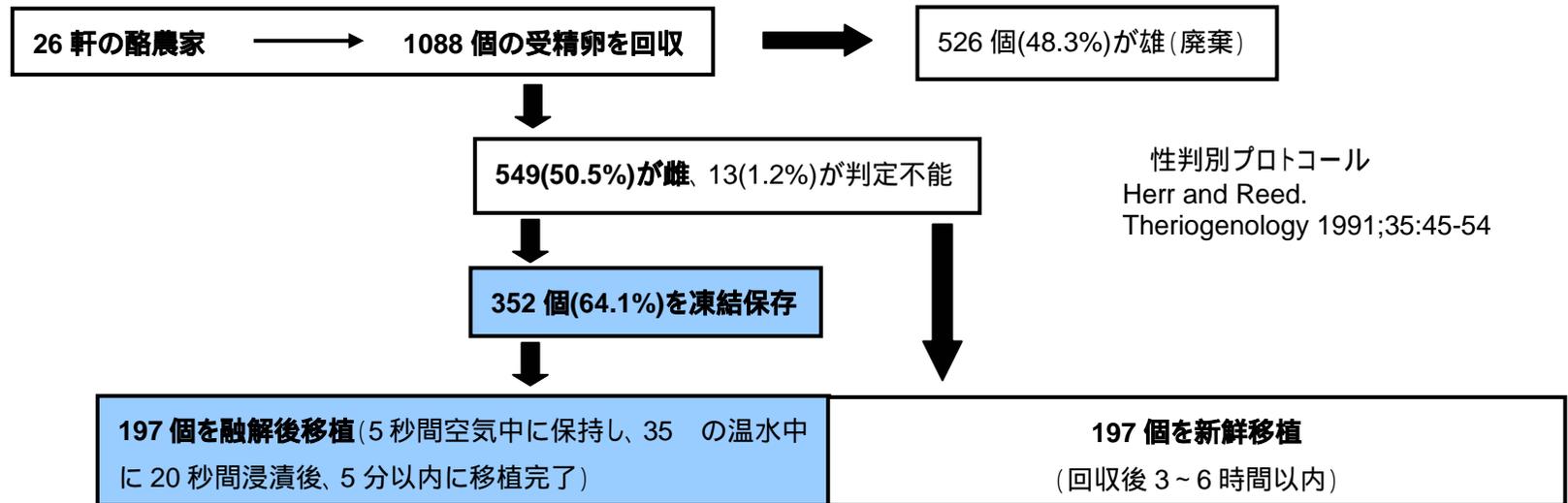


「全農 ET センターニュース」平成 14 年 2 月号

今月は 2002 年 1 月にブラジル イグアス市で開催された国際受精卵移植学会 (International Embryo Transfer Society: IETS) で発表された受精卵の性判別に関する研究について紹介させていただきます。これは 32 ヶ月以上にわたって臨床データを蓄積しまとめたものです。

性判別済み雌新鮮卵と雌凍結卵の妊娠率の比較. Dr.ダロー(カナダ)

Pregnancy rates of sexed female fresh and frozen bovine embryos: A retrospective analysis. M.D.Darrow (Canada)



レシピエント	ランク 1	ランク 2	合計	ランク 1	ランク 2	合計
未経産牛	73/133(56%) ^a	8/20(40%)	82/153(53%)	78/106(74%) ^b	22/44(50%)	100/150(67%)
経産牛	13/23(57%)	2/4(50%)	15/27(56%)	7/16(44%) ^c	3/8(38%)	10/24(42%)

a-c:有意差あり

*凍結メEDIUM: ポリビニルアルコール, 高分子多糖類, アラビノガラクトンを含むエチレングリコール (Arabino-Freeze, AB technology)

結論: ランク 1 の性判別済み凍結卵の妊娠率は新鮮卵と比較して低い値を示したが、その値は 55%以上であった。

コメント: ET センターとして新鮮移植での妊娠率と比較しても差がみられないような性判別済み受精卵の凍結法を現在開発中です。